沖縄県新型コロナウイルス感染症発生動向報告

沖縄県疫学統計・解析委員会

【現状】

新規陽性者数・実効再生産数

沖縄県における先週（8 月 30 日-9 月 5 日）の新規陽性者数は、3,236 人（先々週 4,328 人）でした。沖縄本島（周辺離島を含む）における週あたりの実効再生産数(R)は 0.69 (95%CrI:0.67, 0.72)であり、確実に減少しはじめています（図１）。

また、那覇市の実効再生産数(R)は 0.53 (95%CrI:0.49, 0.57)、宮古医療圏は 0.40 (95%CrI:0.31, 0.49)、八重山医療圏は 0.53 (95%CrI:0.43, 0.65)でした。

年代別推移

週あたりの推移をみると、７月以降、高齢者の占める割合は低く保たれているものの、直近３週間は徐々に上昇しています。また、未成年が占める割合は上昇が続いており、先週は 30%を越えています（図２）。

年代別では、20 代が 587 人（18%）と最多であり、10 代 526 人（16%）が続きます。今回、はじめて 30 代 520 人（16%）が 10 代を下回りました。なお、いずれの年代においても、性比で男性が多くなっています（図３）。

幼年・若年層

園児、生徒、学生の新規陽性者は 711 人で、全体の 22%（先々週 18%）を占めています。内訳は、保育園・幼稚園児 61 人（先々週 107 人）、小学生 311 人（先々週 316 人）、中学生 132 人（先々週 136 人）、高校生 110 人（先々週 109 人）、大学生 29 人（先々週 52 人）、専門学校生 26 人（先々週 27 人）、留学生 4 人（先々週 0 人）でした。

保健所による疫学調査によると、小学生の新規陽性者の推定感染経路は、家庭 179 人（58%）、学童クラブ 15 人（5%）、親族 13 人（4%）、その他 6 人（2%）、不明・調査中 98 人（32%）でした。中学生では、家庭 74 人（56%）、親族 3 人（2%）、友人 3 人（2%）、その他 3 人（2%）、不明・調査中 49 人（37%）でした。高校生では、家庭 39 人（35%）、友人 8 人（7%）、その他 6 人（5%）、不明・調査中 57 人（52%）でした。

保健所管轄区域別推移

保健所管轄区域別（7 日間合計）では、北部 308 人（先々週 297 人）、中部 1,305 人（先々週 1,577 人）、那覇市 672 人（先々週 1,027 人）、南部 748 人（先々週 1,007 人）、宮古 77 人（先々週 177 人）、八重山 109 人（先々週 192 人）でした。北部を除いて減少しており、とくに離島において減少しています（図４）。

また、新規陽性者のうち、診断時に無症候だった者が占める割合は、北部 12%（先々週 12%）、中部 8%（先々週 6%）、那覇市 15%（先々週 15%）、南部 5%（先々週 11%）、宮古 4%（先々週 19%）、八重山 6%（先々週 12%）でした。この指標は、接触者をどれだけ検査に繋げられているかを反映すると考えられます。

市町村別推移

市町村別（人口 10 万人あたり 7 日間合計）では、人口１万人以上の市町村について多い順に嘉

手納町 401 人（先々週 416 人）、名護市 355 人（先々週 364 人）、読谷村 303 人（先々週 316 人）、北谷町 275 人（先々週 330 人）、本部町 266 人（先々週 159 人）でした（図５）。

渡航者関連

疫学調査で、渡航歴を認めた者は 16 人（0.5%）（先々週 54 人）でした。内訳は、県外からの渡航者 13 人（先々週 50 人）、県外へ渡航した県民 3 人（先々週 4 人）でした。本土での流行状況、夏休み後半（8 月中旬）以降の渡航者の減少も影響していると考えられます（図６）。

入院患者数推移

入院患者数は、先週末（9 月 5 日時点）で 690 人（8 月 29 日時点 722 人）となり、酸素投与など中等症患者は 583 人（8 月 29 日時点 601 人）、気管挿管など重症患者も 26 人（8 月 22 日時点 35 人）と減少しています（図７）。

減少に転じてはいるものの、いまだ入院患者数は高いレベルであり、多くの急性期病院において外来受診が制限されたり、外科手術が延期されるなど、医療機能は正常には戻っていない状況です。

【今後の見通し】

県内の流行

沖縄県では、北部を除いて新規陽性者数は減少に転じています。とくに、宮古、八重山で減少しています。ただし、どの地域でも小児での流行が続いており、延長していた夏休みの終わりや対面授業の再開、イベント等が重なることで、再び感染が拡大する恐れがあります。今週の新規陽性者数は 2,000-2,500 人と推定します。

入院患者数

先週までは、酸素投与が必要な中等症患者であっても在宅での診療を余儀なくされていましたが、おおむね入院での診療が可能になってきています。

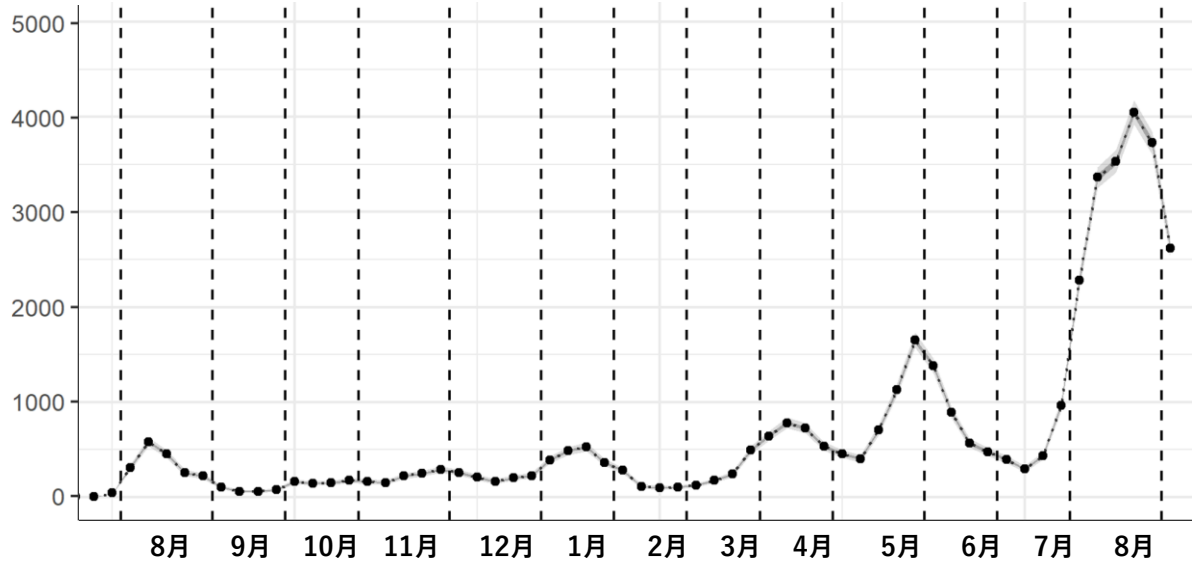
今週末までに入院患者数は 650-700 人へと減少が見込まれます。気管挿管等を必要とする重症患者数は 20-30 人に減少すると推定します（図８）。

図１ 陽性者数の推移と実効再生産数（北部、中部、南部）

陽性者数（確定日）

週あたり観察値

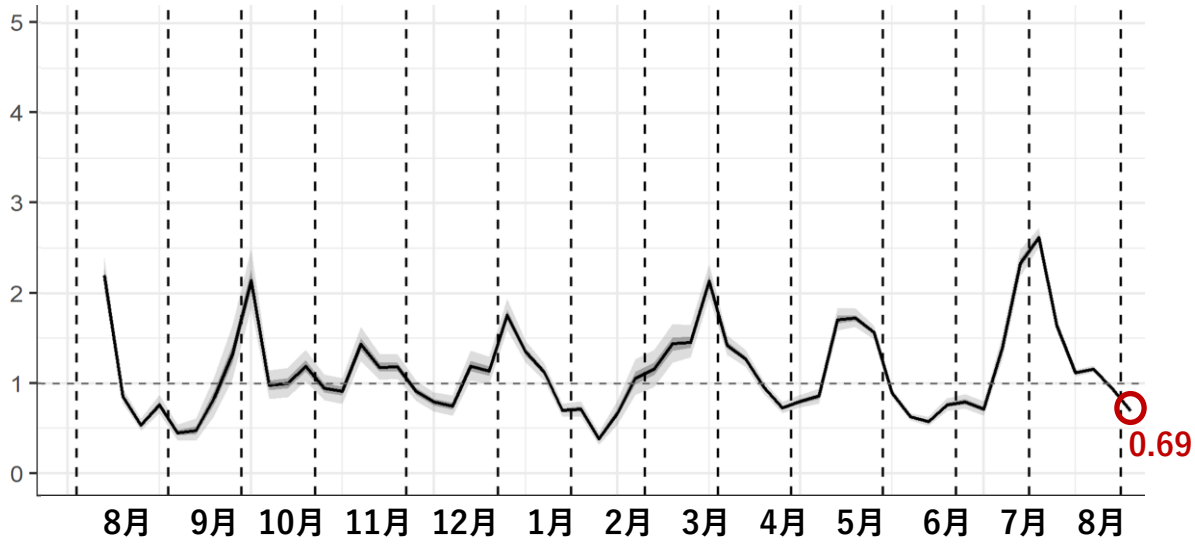
北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）



実効再生産数

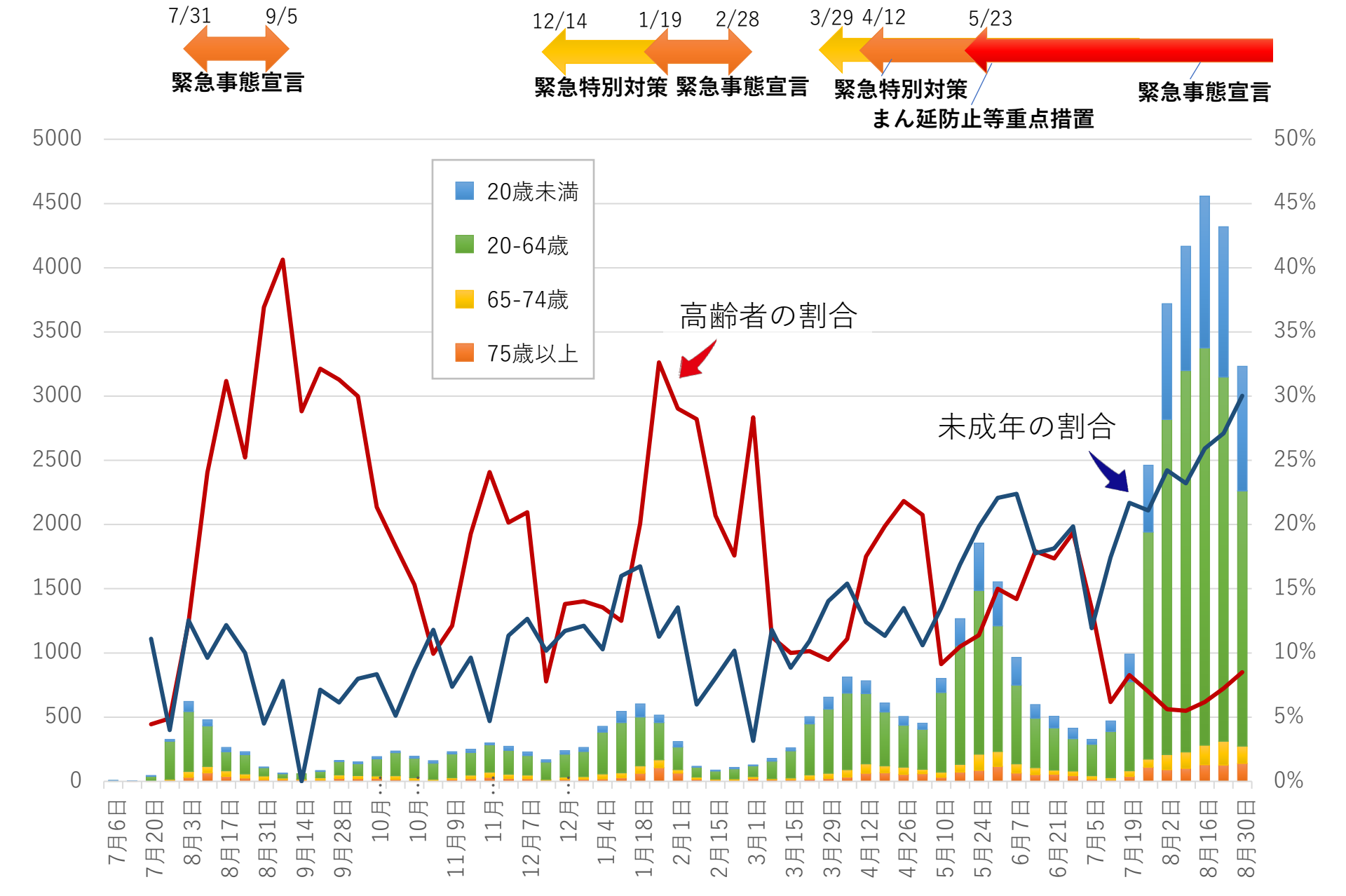
週あたり推定値

北部、中部、南部医療圏
（宮古・八重山を除く）

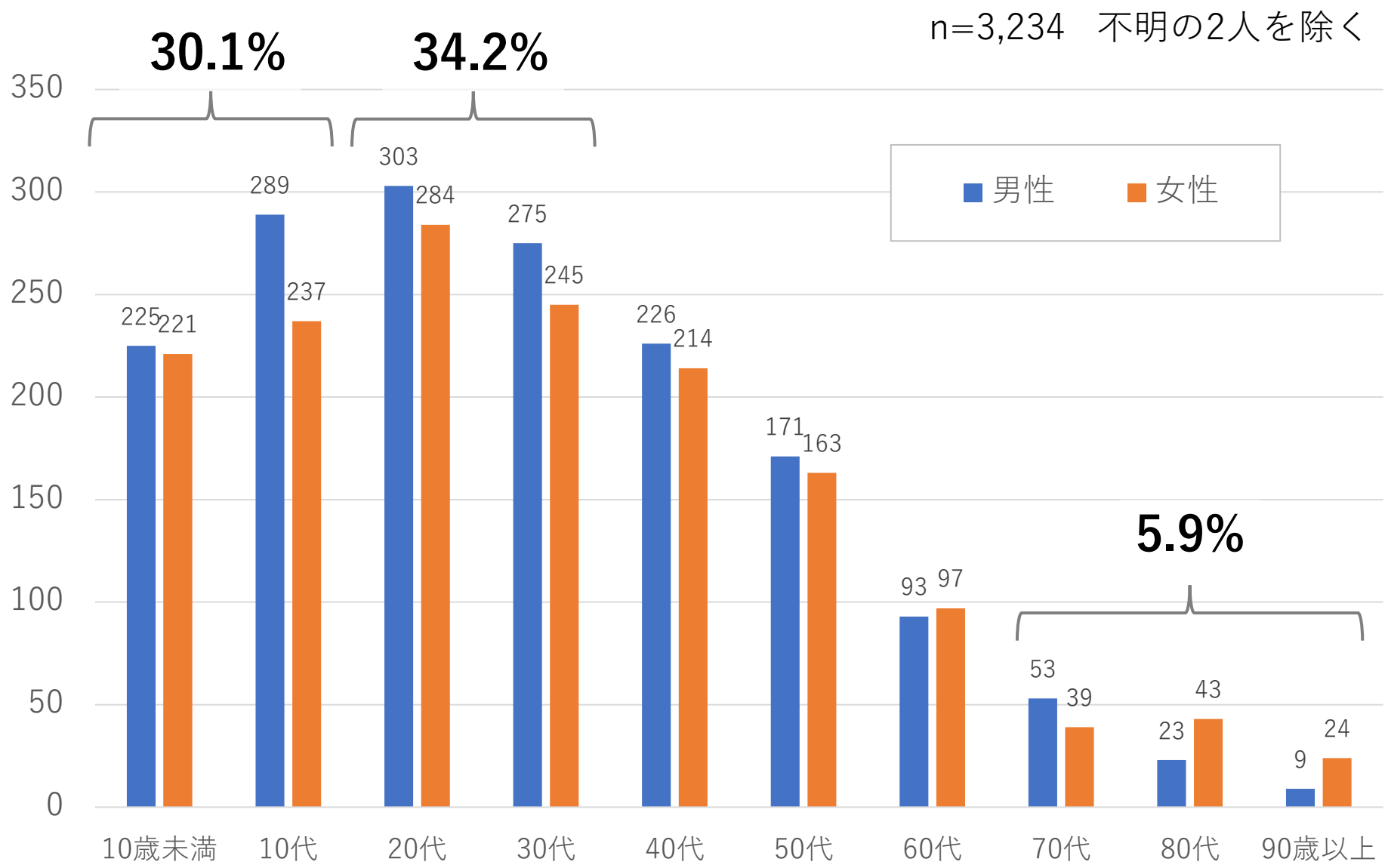


沖縄県疫学統計・解析委員会

図２ 年齢階級別陽性者数の推移（週あたり）



沖縄県における性年齢階級別症例数（8月30日～9月5日）



沖縄県：沖縄県における新型コロナウイルス感染症発生状況

図４ 保健所管区別にみる新規陽性者数の推移

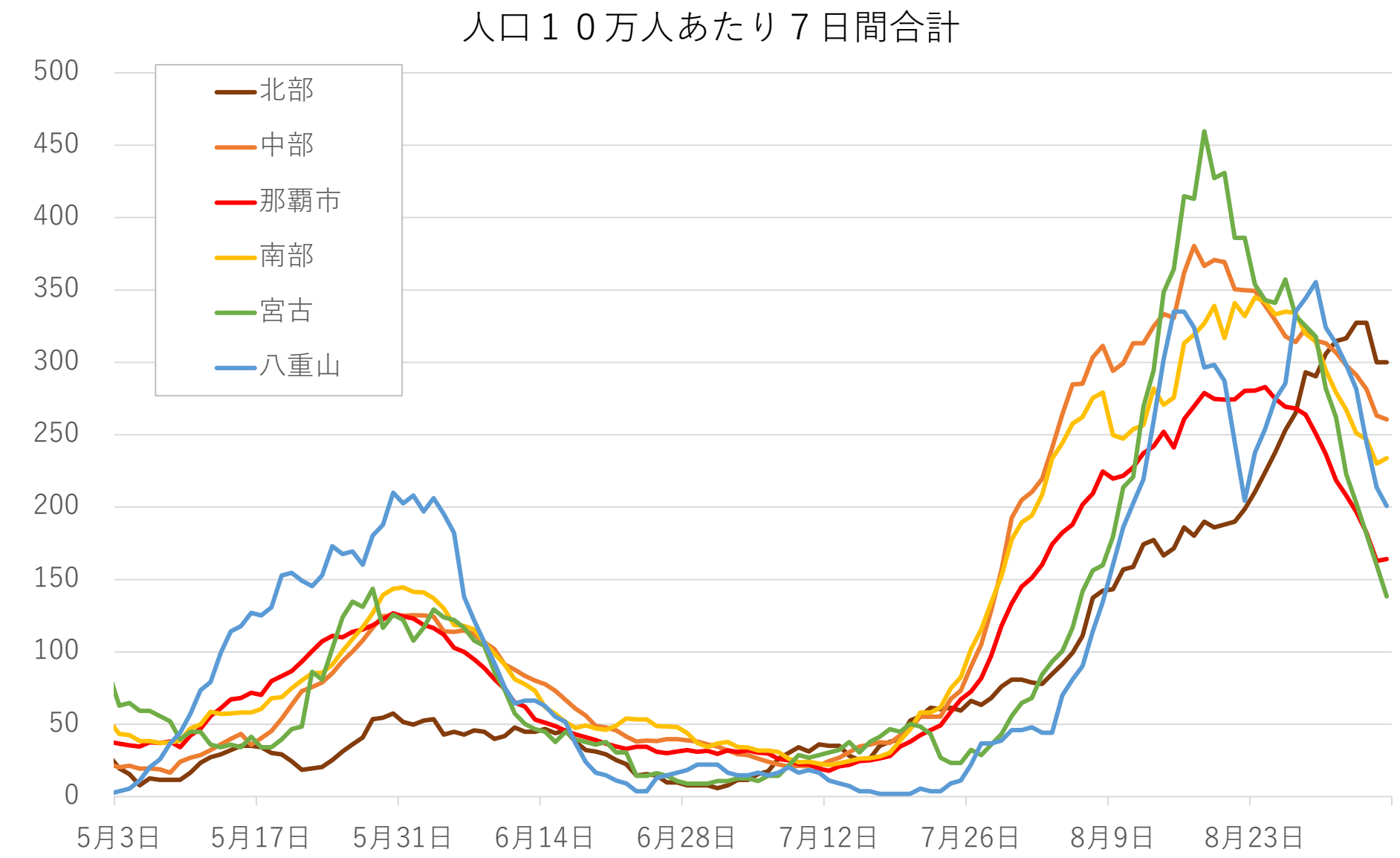


図５ 市町村別にみる新規陽性者数（先週の上位10市町村）

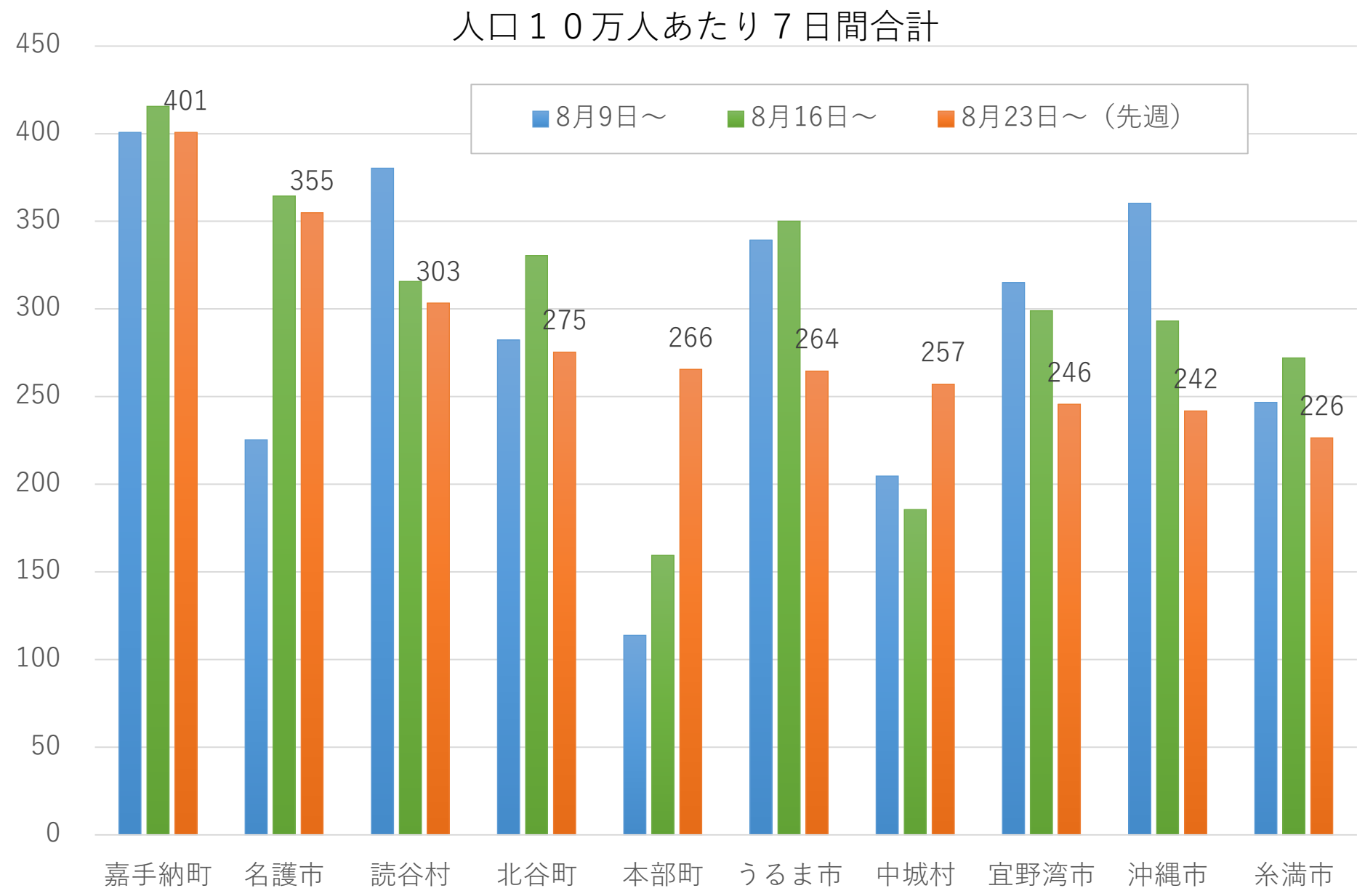
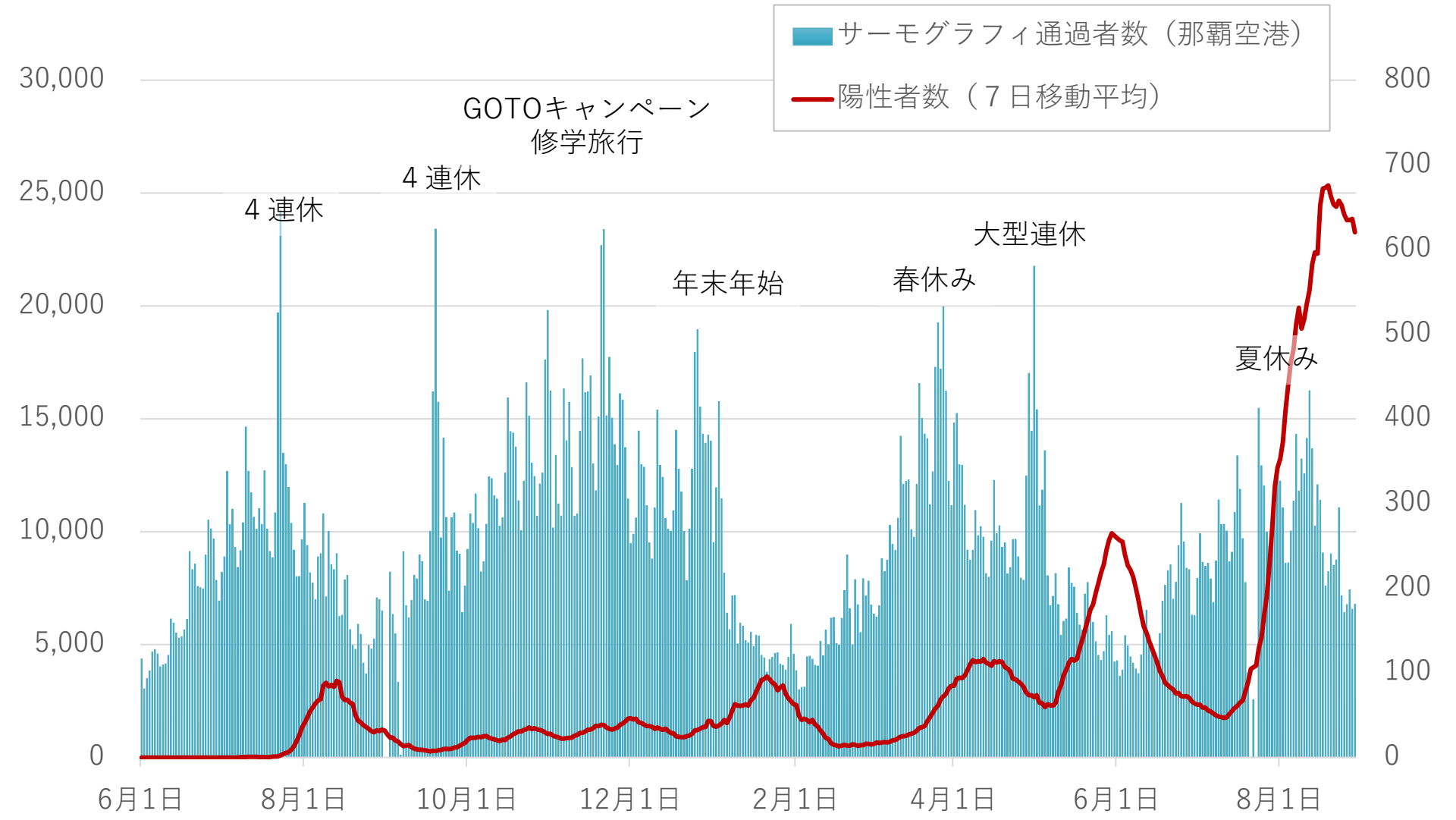


図６ 那覇空港到着客数と新規陽性者数の推移



※ 那覇空港到着客数は、到着口Ａ，Ｂのサーモグラフィ通過者数により推定

図７ 新規陽性者数および重症度別入院患者数

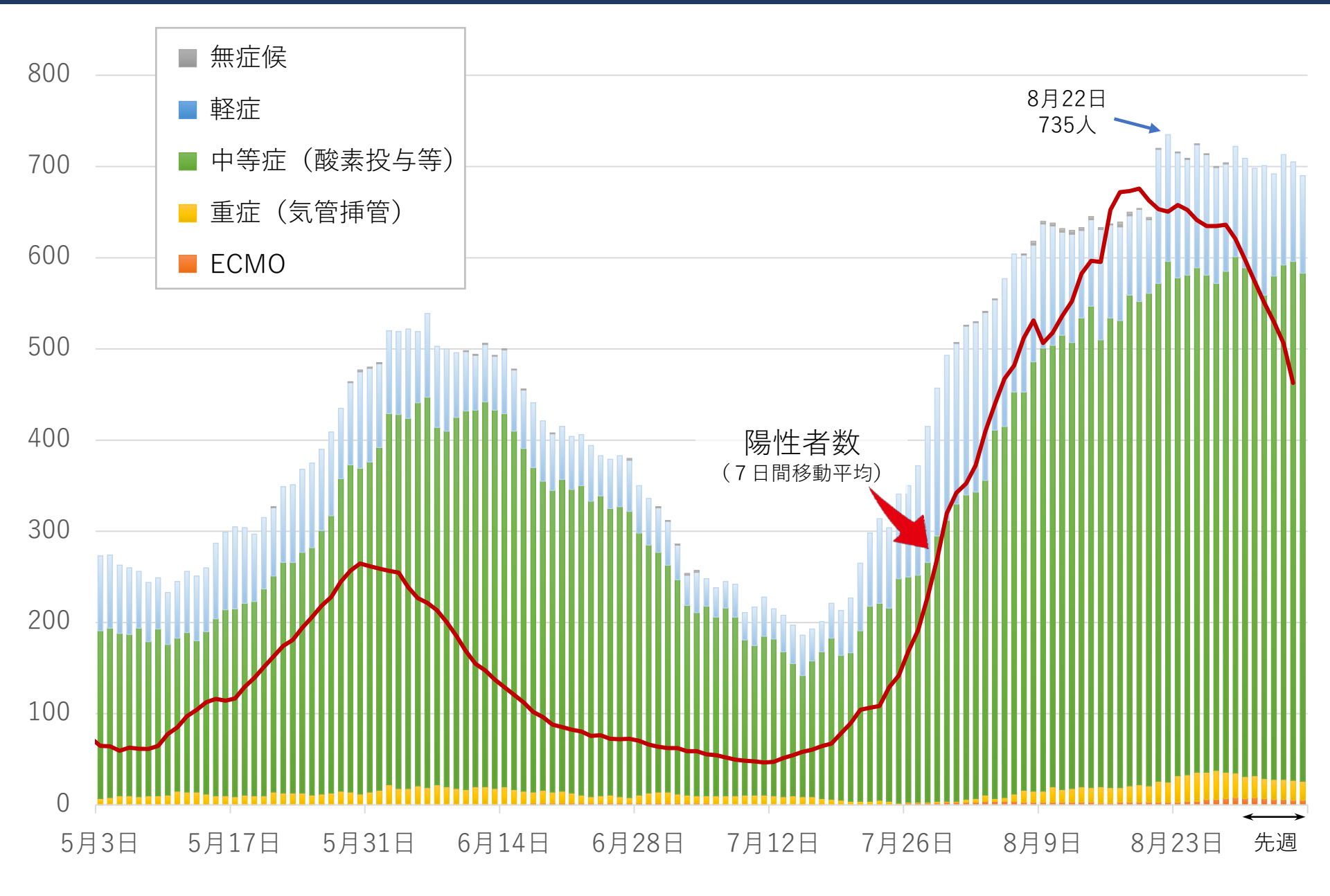


図８ 今後１週間（9月6日-12日）の発生見込み数

分析データ：　新規陽性者数、年齢群別・医療県別入院率；　沖縄県
年齢群別重症化率；　厚生労働省
平均期間（入院・重症）；　HER-SYS

	新規陽性者数（確定日）			入院患者数※			重症患者数※		
実効再生産数	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.0	1.5
北部	150	303	610	97.8	113	137	3	3	4
中部	653	1,314	2,646	239.0	304	410	13	15	20
那覇市	331	666	1,341	166.8	199	250	11	12	14
南部	362	729	1,468	149.1	185	243	4	6	8
宮古	44	89	179	19.9	24	30	1	1	1
八重山	58	116	234	33.3	40	52	1	1	2
合計	**1,598**	**3,217**	**6,478**	**706**	**864**	**1,123**	**32**	**39**	**50**

※　9月12日時点の見込み数

沖縄県疫学統計・解析委員会